

令和6年度 佐呂間町立若佐小学校 グランドデザイン

【教育目標】 考える子 助け合う子 強い体の子

「つなげよう つながろう！」

【重点教育目標】

～未来を創る論理的思考力とコミュニケーション能力の育成～

自ら学び作り出す (知)

(1) 論理的思考力を培う 授業実践

- 言葉により説明する力
- ガイド学習（複式教育の充実）
- 自他の考え、既習事項、他教科等をつなげて考える力

(2) ICT機器の有効活用

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 間接指導時の効果的活用
- 宿題・家庭学習での活用の充実

(3) 地域・家庭との連携

- 保護者と連携した家庭学習の充実
- 家読習慣の取組
- 地域の教育資源や人材活用

自他の立場を考え協力する (徳)

(1) 豊かな心を育む道徳教育

- 全教育活動による道徳教育
- 道徳科の特質を生かした授業
- 児童理解を深める教育相談と
きめ細やかな生徒指導

(2) 仲間のよさを実感する 特別活動

- 子どものよさを見取り、励ます
- 自己肯定感を高める活動（行事・児童会・縦割り班活動）
- 自然から学び、深める教育

(3) 自立と共生を支える教育活動

- 適切な指導・必要な支援
- 特別支援教育の充実
- 共生社会の基礎づくり
- 関係機関との連携

心身共に健康でたくましく 最後までやり抜く (体)

(1) 健康・体力・運動能力 の向上

- 体育の授業を要とした総合的な体力作り
- 家庭・地域と連携した運動習慣の定着
- 望ましい習慣を育む食育・保健教育

(2) 安心・安全な教育環境 と安全教育

- 教育環境の整備・点検・充実
- 命を守る教育の充実
- 衛生的な教育環境と感染症予防対策

(3) 信頼され働きがいのある 学校づくり

- 服務規律の徹底と教職員の資質能力を高める主体的な研修
- 働き方改革の推進と理解促進
- 学校評価を活用した学校改善（家庭・地域との連携）

【校内研修】 「自ら学び共に高め合う子どもの育成」 ～コミュニケーション能力の向上を目指した授業構成～

○学習ガイドの活用 ○自分の考えを表出する場面の設定 ○直接・間接指導・教具・ICT活用の工夫

◆町内小中学校の連携（2025年度併設型小中一貫校へ）

- 【3小連携】○合同授業、授業配信、巡回通級 等
- 【小中連携】○中学校教員による高学年一部専科制
○義務教育9年間を見通したカリキュラム作成

◆地域連携

- 若佐小学校運営協議会
- 若佐小PTA

◆保小連携

- 架け橋プログラム
・保育所卒園前の「アプローチカリキュラム」
・小学校入学後の「スタートカリキュラム」

◆中高連携

- 【小中高連携】OSCによる教育相談の連携
- 【中高連携】○合同部活動（吹奏楽・バスケット・バドミントン・サッカー）

0歳から18歳までを見通した佐呂間町の教育

共生・協働 多様性を認め合いともに成長することができる学校づくり